地理歴史科

科目名	単位数	学年	学科
日本史探究	4単位	3年	普通科

教科書	精選日本史探究 今につながる 未来をえがく (実教出版)	副教材	なし
-----	------------------------------	-----	----

科目の目標	<p>我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解する。</p> <p>概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。</p> <p>我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
-------	--

☆ 年間指導計画と学習のポイント ☆

	学 習 項 目	単元の評価の観点	
		①知識・技能	②思考・判断・表現
1 学期	第1部 原始・古代の日本と東アジア 第2部 中世の世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事情を基に、それらが世界の歴史と日本や日本周辺の地域が多様な面につながっていることを理解している。 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。 現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解している。 歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の資料の関係に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 世界の歴史をとおして生活や社会の変化について考察し、問いを表現している。 事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、現代的な諸課題と関連付け、主題について多面的・多角的に考察している。
2 学期	第3部 近世の日本と世界		
3 学期	第4部 近現代の地域・日本と世界		
<p>1 日本の歴史をたどり、現代の私たちの生活や文化が多様な面につながっていることについて考えてみましょう。</p> <p>2 様々な資料を活用してレポートを作成し、課題(問い)を見つけ、多面的・多角的に考察し、それを表現しましょう。</p> <p>3 粘り強い取り組みを続け、学習内容をまとめ、発表し、相互に評価しましょう。</p>			

番号	評価の観点	評価規準
①	知識・技能	事象の背景や原因を理解し、多様な資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。
②	思考・判断・表現	事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、多面的・多角的に考察し、探究したことを表現することができている。
③	主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、各自が見出した課題を主体的に追究し、解決しようとしている。
定期考査	1学期中間・期末 2学期中間・期末 学年末 (計5回)	
評価方法 (観点番号)	<p>以下を総合的に評価する。</p> <p>①知識・技能 (定期考査、レポート)</p> <p>②思考・判断・表現 (定期考査、レポート、グループワーク)</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 (授業・研究発表の態度、レポート、グループワーク)</p>	